

## 第11回 福島問題予備研究会 議事録

日時：平成27年12月17日（木）15:00～17:30

場所：化学工学会会議室

出席者：（敬称略）小林、横堀、鈴木、松井、橋本、郷、中尾(記録)

### 1. 福島原発事故対策委員会報告（小林）

1) 2016 化学工学会年会での福島問題関連シンポジウム：3/15 9:20-15:00

2) 今後の委員会の進め方（小林氏が委員会へ提案）

- ・委員会の下に分科会又はWGを作る
- ・その会には、現役の企業人に参加してもらう

### 2. 関連する学協会の動きほか（横堀）

- ・藤田氏講演（技術士会）：福島事故の責任とけじめが必要と明言したのは好感
- ・横堀氏の見学（5月）報告（2015年10月；月刊技術士記事）
- ・奈良林保全学会会長の見学報告（12月）

### 3. 福島の現状についての情報（橋本）

- 1) 「廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議の中長期ロードマップ(案)」によれば、汚染水問題は見通しを得つつあり、トリチウム問題も2016年前半に目途を付ける予定。
- 2) 凍土壁は計画通りには進んでいないし、吸着材開発の課題は継続必要と思われる。
- 3) 汚染水処理の現状は掴み切れないが、内部事情に詳しい小山正史氏（電力中研）に会う機会が得られるので、汚染水処理の残っている課題は何か聞いて見たい。
- 4) オフサイト除染関連：日揮・太平洋セメントで処理プラントを2016年春稼働。

### 4. 今後の進め方について自由討議

- ・残念乍ら、今年の活動成果は、①原発見学、②IRIDとの打ち合わせ程度。
- ・装置材料部会などで、討論会を継続して行うことは意味がある
- ・将来的なことで、貢献できるようなことはないか。
- ・AICHEのTMI事故に関する文献調査や、除染技術のレビューなどはどうか？
- ・農業分野についても貢献できることがあるのではないか（Cs-K交換）
- ・六ヶ所から学ぶものはないのか？ガラス固化技術は？
- ・高温を扱う技術は必要で、汚泥の焼却処理などは展開できるかもしれない
- ・物質収支が取れないという問題は何も解決していないが、やることはないのか？
- ・地下水のバランスは、大分分かるようになってきた。

- ・材料関係では、2012年から毎年定期的に学会で報告がされている。
- ・装置材料関係でも、ALPSの関係はほとんど報告されていない。
- ・これからはデブリ処理が重要。材料問題と絡んで危険予知が必要ではないか・

#### 5. その他の情報

##### 1) 大江修造氏論文紹介（開発工学、2011Vol.3 1, 2012Vol.3 2）

- ・大事故となった主因が復水器のバルブの閉止操作にあると指摘されている。
- ・格納容器内のバルブが、閉止状態で維持されたのはGEの設計上の問題では？

##### 2) TMI 事故報告書・Alfred Schneider(Chemical Engineering Progress Vol.76)

“Three Mile Island: The Chemical Engineering Aspects”

**\*次回予定 2月9日(火) 15:00より。@化工会応接室**

以上